

ゲートバルブの【あれこれ】を比較して、各々のGood！ポイントをご確認ください。

【比較項目1】
シール構造
について



標準型



ソフトシール型

本体底部に凸凹により
砂、泥などに要注意



堆積物への強さ



流路に凸凹が無く、
砂、泥などが堆積しにくい

幅広い用途に使用可能



用途



水道・農水用途が中心

【比較項目2】
ステムねじ
構造
について



内ねじ



外ねじ

砂埃、塩害などの
影響を受けにくい



外部環境への
強さ



砂埃、塩害などの
外部環境に要注意

異物混入の可能性の
ある流体には不向き



異物混入への
強さ



異物混入の可能性のある
流体でも使用可能

【比較項目3】
操作方法
について



丸ハンドル式



キャップ式

人の手で直接操作できる
地上配管設備向き



操作性



T字ハンドル（回栓棒）が
別途必要。埋設向き

開度計を装備



開閉状態の
認知性



鏝の有無で開閉方向を見分ける
（鏝有=左開、鏝無=右開）

▶ ゲートバルブの製品一覧へ

なぜゲートバルブの開方向には、右開と左開があるの？

ゲートバルブは設備や農水など幅広い分野のほか、水道用仕切弁としても利用されます。この水道用仕切弁の開方向は、水道事業団ごとに右開/左開が指定されているため、ASAHI AVでは両方を選べるように品揃えしています！



配管設備の選定にお悩みの際は、
お問い合わせください！ 旭有機材の営業員が
適切なバルブ選定をお手伝いします！

▶ 旭有機材へお問い合わせ

ASAHI AV